

サトーHD、インドネシアでラベル製造の新工場

Edited By LogisticsToday On 2016/06/07



サトーホールディングスのインドネシア現地法人で、バーコードプリンタ用ラベルの製造・販売を手がけるサトーナガトミは、社名をサトーラベルインドネシアに変更し、販売事業を新設するサトーラベルソリューションズへ継承する。

これにより、サトーラベルインドネシアはラベルの製造、サトーラベルソリューションズは販売事業にそれぞれ専門化し、事業強化を図る。

また、サトーラベルソリューションズの営業所とともにラベル製造工場もジャカルタに移転し、新たに工場も建設した。

新工場は敷地面積9366平方メートルで、バリアフリーに対応。プリンタ用ラベルを製造する設備を強化したほか、屋外から工場内部の気圧を上げて、埃・虫などの侵入を防ぐ陽圧設備も導入している。

■新工場概要

稼働開始日：2016年5月

敷地面積：9366平方メートル

建屋面積：3528平方メートル

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/238153>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.